

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の正答率は国語・算数とも大阪市、全国平均を下回る結果となった。また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、全国平均を下回ったものの、男子は大阪市平均を上回った。児童の学びや活動に対する意欲は高く、何事においても柔軟に最後まで取り組むことができる。学校全体としては、落ち着いて学習に向かう姿勢が見られる。本校児童の備えもつ力を生かし、学習や運動に対する取り組みも充実ができたらと考える。

○児童同士の仲は良く、声を掛け合いながら一緒に解決をしようとする。休み時間は外で元気に遊び、運動に楽しく取り組む様子が見られる。

○様々な視点から、取り組みの意義を捉え、発信していくことで本校の学校運営の向上をめざす。また、保護者や地域と一緒に学校行事を進め、関係深化をめざしていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回と回答する児童の割合を80%以上にする。

○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 8 年度小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 令和 8 年度小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.05 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回と回答する児童の割合を 70%以上にする。
- 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 22 時間以下にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立茨田小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○令和8年度小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ○令和8年度小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安心安全な教育環境の実現】 日々の教育活動や道徳、人権教育実践を通して、仲間づくりができるような取り組みをすすめる。また、安心して学校に通うことができるように児童同士の問題を把握し、解決に努める。 指標 学校で認知した問題について、解消に向けた対応を100%にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安心安全な教育環境の実現】 生活指導部会や職員連絡会で情報を共有し、支援の必要な児童や不登校や学校に来づらくなっている児童に対して組織的に対応する。 指標 生活指導部会、職員連絡会を月一回以上実施し、児童の情報共有を図る。生活指導部会では、出欠簿をもとに欠席が目立つ児童を特定し、ケース会議を行う。また、不登校や行き渋り児童の対応として、スクールサポーターとの連携を進めていく。また、学期に一回以上SSWやSCなどの外部組織と連携する。	
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 自分のよいところに気づくために、友だちとよいところを伝え合うことが必要である。また、その伝えてもらったことを自分の中で大切にし、自分でも認めてあげることが大切である。そのために、児童同士のよいところを見つけ合う活動を行う。 指標 学期に一回「友だちをほめる週間」を設け、自分や友だちのよいところを伝え合うことで、自己肯定感を高めていく。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

大阪市立茨田小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。 ○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。 ○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を88%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 授業時間において、ペアやグループで意見交流をする時間を計画的に設定する。 指標 ペアやグループで交流する機会を1日に1回以上、授業中に設定する。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 算数科における基礎・基本の能力を向上させる。 指標 週1回、ぐんぐんタイムを設け、学級・児童の実態に沿った算数の基礎・基本の定着を図る。	
取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 児童の体力向上に向けた取り組みを推進する。 指標 年間計画を設定する際、学期に1回以上体力向上にむけた取り組みを実施する。（スポフェやかけ足・なわとび週間など）	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立茨田小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ○小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回と回答する児童の割合を70%以上にする。 ○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月22時間以下にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 「連絡帳」機能を活用し、タブレット使用の習慣化を進めながら児童との連絡を確実に行う。また、「こころの天気」機能を活用し、児童の心の状況を可視化し児童理解を深める。 指標 「連絡帳」の確認や「こころの天気」の入力を毎日1回行う。	
取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ゆとりの日（「さくらの日」）や長期休業期間の閉庁日を設定する。 指標 超過勤務の削減を推進するため、毎月3回以上のゆとりの日を設定する。また、長期休業期間に閉庁日を5日以上設定する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	